



7月開催の
2大イベントを
カラーで紹介!



誰もが、主役。



on the
stage

千紫 万紅

スカイ・ピア&
YOSAKOI祭
2024

7月13～15日、スカイ・ピア&YOSAKOI祭の期間中、道内から38ものチームがグリーンベルトに集まり、演舞を披露。猛暑を吹き飛ばすような情熱的な演舞の連続に、満員となった会場は大いに沸きました。



COMMENT



tokachi-紅- / スカイ・ピア & YOSAKOI祭での演舞を、今年一番の目標に掲げて練習してきました。



わか 俊奏 / 見る側も踊る側も、両方とも楽しめる祭での演舞を、今年一番の目標に掲げて練習してきました。



あっぱれ / お客様と一緒に楽しむ一体感を感じてもらえたら嬉しいです。今日も一日あっぱれ!



ひやか 室蘭百花繚蘭 / スピード感とアクロバティックさが強みの演舞、最後まで楽しく見てもらえたら嬉しいです。



WINNER



女子 3000 m
9:07.49

山本有真 選手 (積水化学)
12日後のオリンピックに向けて設定タイムどおり走れたので、良い感覚がつかめました。オリンピックでは1mでも長く先頭の外国人選手に着いていき、自分の限界を突破して自己ベスト更新、そこに決勝進出が付いてきたらいいと思います。



男子 5000mD
13:43.77
自己ベスト!

柴田大地 選手 (中央大)
しっかりと自分の持ち味であるラストスパートで勝ちきることができ、自己ベストを更新できたので、この大会での目標は果たせたのかなと思っています。



女子 800mA
2:01.93
自己ベスト!

塩見綾乃 選手 (岩谷産業)
ペースメーカーの選手が、600m近くまで良い引っ張りをしてくれたおかげで、最後まで自分の走りができ満足です。次は2分00秒台、さらに2分切りを目指せる選手になりたいです。



疾風迅雷

ホクレン・ディスタンスチャレンジ 2024



7月20日、中長距離大会ホクレン・ディスタンスチャレンジの最終シリーズが青葉陸上競技場で行われました。パリオリンピックに出場予定の選手など、全国各地からトップアスリートが千歳に集結。ほかに類を見ない超ハイレベルなレースが繰り広げられました。



日本郵政グループ



主役は、
誰だ。



on the
field